

主催：公益財団法人 姫路市文化国際交流財団  
 (姫路市主催 国際交流スプリングフェスティバル 共催)

# 第10回 日本語スピーチコンテスト

つたえることば  
 つたわるきもち  
 つながるよろこび



平成27年3月1日(日)、イーグレひめじ・あいめっせホールにて、姫路市近郊在住外国人による日本語スピーチコンテストを開催しました。第10回を迎える今年は、ベトナム、中国、カナダ、タイ、マレーシア、オーストラリア、台湾出身の14名が集まり、それぞれ個性的なスピーチを発表しました。



今回、見事金賞に輝いたのは、「私が見た賑わいのある日本」というスピーチをした、中国・江蘇省出身の肖雅さんです。静かだと聞いていた日本は意外にも賑やかで、姫路の秋祭りなどを通じて地域のつながりや伝統文化の継承の大切さを感じたそうです。



銀賞を受賞したのは、「私の好きな町」というスピーチをしたオーストラリア出身のキャサリン バーガマイスターさんです。数か月後に帰国を控え、お世話になった姫路のみなさんに「さよなら」を言いたいという気持ちで日本語スピーチコンテスト2回目の出場を決められたそうです。出身地アデレードと姫路の比較に自作の落語を取り入れるなど、独自の工夫とチャーミングな笑顔で観客を惹きつけました。聴きやすい日本語も印象的でした。



銅賞を受賞したのは、「頭を使いましょうよ」というスピーチをしたベトナム出身のファム ティ ホアさんです。レストランなどで見かけるマニュアルどおりの接客や、カーナビに頼りすぎる運転などを例に挙げながら、頭を使わなければ人間はどうなってしまうのかという疑問を投げかけ、皆の共感を得ました。観客の投票によって決まるオーディエンス賞を受賞したのは、ベトナム出身のトラン ティ タン フェンさんです。



「これはチャンスだ！」というスピーチは、自らの体験をもとにした明るく力強いもので、観客の心をグッとつかみました。スピーチの審査中は、日本語学習者による母国の歌や踊りの発表があり、節回し独特のネパール歌謡、美しい中国伝統舞踊、そしてチームワークが素晴らしかったベトナムの踊りに、大きな拍手が湧き起こりました。



当日は  
ボランティアも  
たくさん参加。  
みなさん、  
ありがとう  
ございました！

日本人の気づかない日本の良さや不思議な点、万国共通の考え方など、スピーチを聞いている私たちにさまざまな気づき、そして元気や勇気を与えてくれるとても貴重な機会となりました。発表者のみなさん、ありがとうございました！